

平成25年度 妙高市理科部 活動報告

部長 戸田 一弘

1 研究主題

「科学的な思考力を育成する理科教育の工夫」

2 研究の概要

- ・平成25年4月18日（木）の第1回理科部会で今年度の研究主題「科学的な思考力を育成する理科教育の工夫」を決める。
- ・平成25年8月22日（木）の第2回理科部会で11月7日の理科授業研の授業者より、「放射線学習」を中心に授業構想を考えているとの提案があり、参加する理科部員も全員「科学的な思考力を育成する理科教育の工夫」をテーマに実践レポートを持ち寄ることを確認する。
- ・平成25年11月7日（金）に新井中央小学校で理科授業研究会を行う。（第3回理科部会）

3 研究の実際

授業者は新井中央小学校の鹿島真由美教諭で、6年理科の人と環境の単元で、「放射線学習」を行う。

本時の目標は、「大型霧箱で放射線の飛跡の観察をしたり、簡易放射線量測定器『はかるくん』を使って身の回りの放射線量を測定したりすることを通して、自然放射線が身近にあることが分かる。」である。

残念ながら、研究授業中、大型霧箱で放射線の飛跡の観察はできなかったが、その後の研修で「大型霧箱の底に入れるドライアイスは平らにビッシリ入れる」と成功の確率が高くなることが分かった。

協議会のあと、「科学的な思考力を育成する理科教育の工夫」のテーマのもと一人一人実践を発表し、意見交換を行った。小・中・特別支援学校の様々な分野からの実践発表は、短時間ではあったが、大変有意義な時間となった。

4 成果と課題

東日本大震災以降、大地震と津波、その後の原発事故の影響が身近で喫緊の問題となっている現在、「放射線」とのかかわりを含めた授業研究を多くの部員で共有できた点が大きな成果であった。

また、「放射線」にかかわる授業を小・中学校で、どのように連携しつなげていったらいいかという課題が残った。